

民主的な税務行政の実現めざして

3・13重税反対統一行動に450名が参加しました



税務情勢について報告を行う森山会長

3月13日(金)、小牧駅東口公園にて、毎年恒例の「3・13重税反対統一行動 小牧地区集会」が開催され、春日井・小牧・尾北の各民商からおおよそ450名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、現地参加者を含め、春日井からは民商や年金者組合などからおおよそ150名が参加しました。

集会では、千田・尾北民商会長が開会あいさつ。税務情勢について森山・春日井民商会長が報告、近田・小牧民商会長が集会決議を提案しました。

その後、参加者たちは「消費税増税反対」などと元気にシュプレヒコールを上げながらデモ



元気よくデモ行進する春日井民商からの参加者

行進し、順次申告書を提出しました。

終了後は、婦人部が春日井市役所近くの「セルピコ」(南支部会員)で昼食会を行いました。昼食会には31名が参加し、互いに自己紹介や近況報告などをして、和やかな語らいの場となりました。

おかげさまでバスカンパは目標額に到達しました!

1月からとりくんだバスカンパの総額は16万2,136円となり、目標の16万2,000円を突破しました。営業とくらしの状況が厳しい中でカンパをしてくださった皆さんに、心から御礼申し上げます。

NPT 初めての参加に向けて

「核のない世界」の実現にむけ、4月27日からニューヨークで開かれる「NPT再検討会議」に参加する福原婦人部長から寄せられた手記を紹介いたします。

NPT(核不拡散条約)とは、もともと核兵器を持たない国が今後も持たないことと引き換えに核保有国も「核軍備の撤廃」を実現することを約束した条約です。

その約束から今年45年目、それなのに今なお一万六千発を超える核兵器が貯蔵、配備されている現状があります。

長崎にいる多くの知人から被爆体験を聞いたこと、丸木位里夫妻の「原爆の図」に言葉もなく涙したこと。戦争で、地雷で、手や足をもぎ取られた数え切れない子どもたち、戦火の中の生活しか知らない子どもたちに、気休め程度ですが義手義足を贈る運動に関わることが出来ました。今年のヒキニデーで初めて久保山愛吉さんの墓前に立った時、新たな決意が芽生えました。

広島、長崎、ヒキニ・・・二度も核兵器の被害に見舞われた日本、憲法九条を持つ日本だからこそ、「核兵器のない世界」の実現めざして声をあげ続けて行きたいと願いつつ、ニューヨークでは更なる学びと体験と感動に・・・期待でふくらんでいます。

消費税の申告と納期限は、3月31日(火)までです!

1日でも遅れると、無申告加算税等が発生します。注意してください!